

言語教育とアイデンティティ形成 —日本語・国語・外国語教育の連携と再編—

近年、多文化共生社会での言語教育のあり方がさまざまな場面で問われている。たとえば、1980年代初頭の「留学生10万人計画」は、経済大国ニッポンの示威行為としての国際化宣言だった。最近発表された「留学生30万人計画」の背景には、日本の産業市場にとっての外国人労働力の問題がある。そして、ここには、常に**外国人のための日本語教育の問題**が横たわっている。

戦後の**日本語教育**は、国語教育から分離独立したが、これは新しい方法にはなりえても、新しい理念には至らなかった。ここでは、言語による人間理解の理念とその達成ではなく、「外国人に何をどのように教えるか」という方法・技術が模索されたに過ぎなかった。また、学校教育としての**国語教育**が、めまぐるしい「国際化」の中で、個人と社会への総合的な視野を失い、ことばと人間形成の本来的な機能を果たしえなくなっている現実を直視しなければならない。そして、国際化に名を借りた**英語教育**の猛威は、小学校のカリキュラムの中で、ことばと人間の関係を子どもたちに考えさせる余裕を失わせている。しかも、それぞれはほとんど別のこととして、協働・連携の意識もなく、ばらばらに行われている。

ことばは人をつくり、文化をつくり、社会をつくる。人は何のためにことばを学ぶのか。この重要な問いを見失ったまま、「効果的」な教育方法をめざして突き進んで来たツケが、今、日本のことばの教育を根底から揺さぶることになっている。この言語教育—**日本語・国語・外国語の教育**をどのように連携・再生させ、新しい言語教育として再編して位置づけるための思想が今、求められている。言語教育そのものが人間形成の支援であり、人間によって行われる文化的かつ社会的な営みであるという視点に立てば、ことばの学習／教育の社会的・文化的意味を問うという行為は、当然のこととして、非母語話者に対する「日本語」教育と母語話者に対する「国語」教育、そして国際化のための「英語」教育といった見方の変容をも迫ることになるだろう。

ここでは、以上のようなことばの教育を、アイデンティティ形成という観点から新しく総合的に捉えなおす試みを開始したい。ここでいうアイデンティティとは、個人が様々な有している、複数の「居場所」感覚をさすものと仮に定義しよう。そうした内在する「居場所」感覚の形成・更新にとって、言語教育はどのような意味を持つのか。また、その際に果たすべき教育実践の役割とは何か。こうした問題を、言語教育政策の問題を視野に入れつつ、継続的な議論を積み重ねていくこととする。

2010年5月

細川 英雄・早稲田大学大学院日本語教育研究科

<http://www.gsja1.jp./hosokawa/>





言語文化教育研究会 (2010年度第1回)

言語教育とアイデンティティ形成

—日本語・国語・外国語の連携と再編—

❖日時：6月11日(金) 17:00~19:00

❖場所：早稲田大学早稲田キャンパス22号館 8階会議室

❖話題提供：春原憲一郎氏(海外技術者研修協会 AOTS 日本語教育センター長)

❖タイトル：

＜資本＋国家＞主義の変化による個人・国家のアイデンティティの脱&再構築について
—複数文化戦略と人種なきレイシズムの密約に関する一考察—

❖要旨等, 詳細は, 以下のホームページから. 来聴歓迎, 参加無料, 事前登録なし.

<http://www.gsjal.jp/hosokawa/>

■言語文化教育研究会

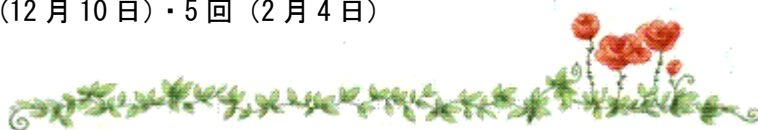
「言語教育とアイデンティティ形成—日本語・国語・外国語の連携と再編」シリーズ

2010年度「言語文化教育研究会」(全5回)は, 科学研究補助金による共同研究「アイデンティティ形成にかかわる言語教育とその教師養成・研修プログラムのための実践的研究」(基盤研究(c) 課題番号: 22520540 研究代表者: 細川英雄)の研究プロセス公開を目的として開催される公開研究会です. なお, この研究会は, 前年度までの「ことばと文化の教育を考える会」を合併吸収して行われます. どなた様も奮ってご参加ください.

来聴歓迎, 参加無料, 事前登録なし

次回以降の予定: 時間はいずれも金曜日 17:00-19:00 の予定.

2回(7月16日)・3回(10月15日)・4回(12月10日)・5回(2月4日)



■国際研究集会

「言語教育とアイデンティティ形成—日本語・国語・外国語の連携と再編」

2011年3月4日(金)・5日(土) 早稲田大学22号館

3月4日(金) パネルシンポジウム

3月5日(土) 研究発表(7月募集詳細決定, 9月末応募締切)

研究成果は, 書籍単行本化を検討中.